

平成25年度「事務事業の外部評価」 集計結果

| 2 市営住宅入居対象者拡大事業、ストック総合改善事業ほか |  | 票数 | 提言内容   |
|------------------------------|--|----|--|
| 1 拡充                         |  | 1  |  |
| (1) 対象の拡大                    |  | 1  | ○ストック総合改善事業は、国の交付金を活用のうえ、長寿命化を進めていただきたい。   |
| (2) 事業の手法、内容の拡充              |  | 1  | ○通年収入未済額は、152百万円と減少しているとはいえ大きな残高。滞留する前に早期の対応が必要。   |
| (3) 事業費の拡充                   |  |    |  |
| (4) その他                      |  |    |  |
| 2 見直し                        |  | 3  |  |
| (1) 事業の一部廃止                  |  |    |  |
| (2) 事業内容、手法の見直し              |  | 3  |  |
| ① 民間委託実施・拡大                  |  |    |  |
| ② 指定管理者制度の導入                 |  |    |  |
| ③ 自主財源確保(受益者負担等)             |  |    |  |
| ④ 対象の見直し                     |  |    |  |
| ⑤ 手段の追加、改善                   |  | 1  | ○建替えの際には、高層化による集約→不用地売却→宅地開発などの発展的な展開を描く。また、鉄道、病院との相乗効果も考える。<br>○徴収、通常の維持管理を適切に行う。特に、公社との関係が馴れ合いにならないように。<br>○移住に関しては、民間賃貸住宅への入居助成の方が現実的。市住は需給バランスが需要超(2倍)。民間住宅に空き家問題はないのか。  |
| ⑥ 設定目標の見直し                   |  |    |  |
| ⑦ 実施期間の短縮                    |  |    |  |
| ⑧ その他                        |  | 2  | ○長寿命化計画、特区制度など、個別には戦略が立てられているが、相互の関連性、あるいは市の他施策との整合が判然としない。市民に分かりやすく将来像を示すと共に、必要に応じ入居者の理解を促進して欲しい。<br>○都市計画に基づき、交通網も考えながら統合等を進めていっていただきたい。長期的なビジョンと時代の変化に対応しながら進めていただきたい。<br>○公共交通、学校、病院等の総合的な視野に立って相乗効果を狙ってみてはどうでしょう。それぞれの予算を有効に使えると思います。 |
| 3 廃止                         |  |    |  |
| (1) 手段が目的化している               |  |    |  |
| (2) 達成手段として不適當               |  |    |  |
| (3) 効果なし(薄い)・逆効果             |  |    |  |
| (4) サービス受給者の自助努力・自己負担        |  |    |  |
| (5) 行政の役割終了、民間実施             |  |    |  |
| (6) その他                      |  |    |  |

(その他コメント)

○指定管理者に対する評価をしっかりと行ってほしい。

○指定管理者はしっかりと機能させること。競争性が無く、緩んだりしていないか。競争がないならば、モニタリング制度を活用し、牽制してはいかがでしょうか。

○理想を言うなれば、景気が良くなって、バンバン家を建てて定住していただければよいのだが。